

■ コミュニティ FM 三角山放送局「安全安心わが街わが家」番組出演について
〈北海道の防災教育（仮）〉

札幌市西区及び周辺地域を放送エリアとする三角山放送局で放送している「安全安心わが街わが家」に道庁危機対策課職員が出演し、安全安心に繋がる情報をタイムリーに発信しています。

2月11日（祝・火）10：45からの回で予定しているテーマは『北海道の防災教育（仮）』です。

多くの避難所で活用されている段ボールベッドの有効性などを発信する予定ですので、チェックしてみてください。

【聴取方法】

- ・FM ラジオ（76.2MHz）
- ・リスラジ <https://listenradio.jp/>

■ 「自主防災組織」とは

防災白書によると、平成7年1月の阪神・淡路大震災では、地震によって倒壊した建物から救出された方のうち、消防や警察及び自衛隊によって救出された方は約2割で、約8割の方々は、自力のほか家族やご近所さんによる救出であったとの報告データがあります。

また、東日本大震災の時にも、児童生徒が地域住民に声かけをしながら避難すると、共助のリレーが繋がり、多くの方々の尊い命が助かりました。

自主防災組織は、自治会や町内会を基本単位とし、地域住民が「自分たちの地域は自分たちで守る！」という意識に基づき自主的に結成し、自発的な防災活動を行う組織のことで、こうしたネットワークにより、日頃から災害に備えた様々な取組を進めることで、いざ災害が起きた場合にも大きな成果をもたらします。

北海道の自主防災組織率も徐々にではありますが、向上しているので、あなたの街でも、自主防災組織を結成してみましよう。

北海道 「自主防災組織」 を結成しませんか？

自主防災組織とは、「自分たちの地域は自分たちで守る」という自覚、連帯感に基づき、災害による被害を予防し、軽減するための活動を行う組織です。

発災時に重要な「自助」と「共助」



災害時への備えは、**自助・共助・公助**の3つに分けられます。

- 自助 自分の身を自分の努力によって守る
- 共助 地域や近隣の人が互いに協力し合う
- 公助 行政による救助・援助など

しかし、災害時は「公助」が十分に機能しない場合もあります。その中で**命を守るために重要なのが「自助」と「共助」**です。

能登半島地震でも活躍した自主防災組織

令和6年(2024年)1月に発生した能登半島地震の際、能登半島の先端部の海沿いに位置する**珠洲市三崎町寺家下出地区**では、地震発生後に隣近所が声を掛け合い、早期に避難したことで、堤防を越える大きな津波が地震発生から25分ほどで襲来し、多くの住宅が倒壊したものの、**住民全員の命が助かりました。**

この地区では、**自主防災組織が設立**されており、避難計画等が整備されていたほか、2011年の東日本大震災以降、**毎年1~2回地震や津波を想定した避難訓練を実施**しており、こうした**日頃からの取組が命を守る**とっさの行動に繋がったと言えます。



「自主防災組織」 を結成しましょう

<結成するメリット>

- ・地域内の**繋がりの強化**
- ・地域内での**役割の明確化**
- ・活動に対する支援施策がある場合も…

■自主防災組織活動カバー率 (R6.4.1時点)

北海道	全国
76.9%	85.4%

※北海道は全国40位

<活 動 例>

【平時(普段)】

- ◆ 防災組織の普及・啓発
- ◆ 地域の災害危険の把握
- ◆ 防災訓練の実施



【発災時】

- ◆ 防災組織の普及・啓発
- ◆ 地域の災害危険の把握
- ◆ 防災訓練の実施



<結成するには>

新たに結成	既存の組織を活用
■ 既存の組織に関係なく、新たにメンバーを集めて結成する	■ 既存の組織(町内会や自治会)に防災部などを設置

※組織の結成など、詳細につきましては、お住まいの市町村にお問い合わせください。

■ NHK防災マガジン「偽情報や誤情報に注意」

災害時に SNS で情報収集をする人は格段に増えてきましたが、一方で、悪質なデマも流れ、混乱も招いています。正しい情報の見極め方や発信の仕方を考えてみましょう。

混乱を招く投稿の事例は次のとおりです。

- ・ SNS で「人工地震が原因」など不安をあおる偽情報投稿の拡散
- ・ 南海トラフ地震臨時情報、注意喚起を装うスパム投稿
- ・ SNS 拡散の災害デマやフェイク画像、AI 生成の画像も

「だいふくあまい」で SNS とつきあっていきましょう。

- だ 誰が言っているの？
 い いついったの？
 ふく 複数の情報を確かめた？
 あ 安全を確認しよう
 ま 間違った情報にならないかな？
 い 位置情報を上手に使おう

職場や生活で役立つ防災情報をお届けします

NHK 防災マガジン

～偽情報や誤情報に注意～

“だいふくあまい”で SNS とつきあおう

災害時に SNS で情報収集をする人は格段に増えました。一方で、悪質なデマも流れ、混乱も招いています。正しい情報の見極め方や発信の仕方をご確認ください。

■ 混乱を招く投稿の事例

SNS で“人工地震が原因”など不安をあおる **偽情報** 投稿 拡散
 南海トラフ地震臨時情報 注意喚起を装う **スパム** 投稿 X で大量に SNS 拡散の災害デマや **フェイク画像**、“AI 生成の画像”も

■ “だいふくあまい”で SNS とつきあおう

災害時の SNS の活用で気をつけたいことを、防災科学技術研究所・総合防災情報センター長の白田裕一郎さんは「だいふくあまい」という年一ワードにまとめました。

SNS を見るとき
だいふくあまい
 発信するとき

「だいふく」は SNS を見るときに気をつけてほしいこと。
 「あまい」は SNS に発信するときの気をつけてほしいことです。

また、災害の情報を確認する際には、自治体が発信している防災アプリや気象庁のアプリ、そして NHK のニュース防災アプリを活用してください。

白田さんはデジタル技術との付き合い方について、「デジタルの技術に使われないようにしましょう。人間が持っているから、人間が使えるわけではないのです。新しい先端的な技術であっても、ぜひ使いこなして、使い勝手でほしいと願っています。」

詳しく知りたい方はこちらをクリック

NHK 防災アプリが無料ダウンロードできます。

災害に関する情報をスマートフォンでもいち早くお伝えしています

いつでもどこでも、NHKの番組を。

NHK+

総合・Eテレの番組を
 スマホやタブレット・
 パソコン・テレビ[※]で
 放送から1週間 何度でも
 アプリで便利に[※]お楽しみいただけます！

受信料約者の名前と住所を入力すればすぐに使えます。
 受信料約がある世帯の方は、別途のお支払い・契約は必要ありません。

利用登録はこちらから 2次元コードをカメラで読み取ってください

- 1 メールアドレス入力
- 2 ID/パスワード設定
- 3 氏名・住所入力

NHKは、みなさまと受信料で支えられています
 受信料制度へのご理解と、ご契約のお手続きをよろしくお願いいたします

テレビ・受信料額を調整されるみなさま
新規契約

お引越しされるみなさま
住所変更

単身赴任・学生のみなさま[※]
家族割引

衛星放送を受信できるみなさま
衛星契約への変更

放送受信契約はスマートフォンでのお手続きが便利です

- 1 下記の2次元コードをカメラで読み取る
- 2 ご契約内容やお支払い方法を選択
- 3 お断り理由を入力しお手続き完了

パソコンからのお手続き
 NHK受信料の窓口 まで
<https://www.nhk-e.jp/jishiryoku/>

お電話でのお手続き
 0120-151515
 受付時間：平日9時～18時（受付終了後）
 050-3786-5003 内線 受付時間：平日9時～18時

放送受信料に関するお問い合わせ
<https://www.nhk-e.jp/jishiryoku/>

NHK くれあいセンター 0570-077-077
 〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1